

アグリ筑西

2019 8月号

いよいよ夏本番です。こまめに水分・塩分を補給し熱中症を防ぎましょう。

発行 県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！→

⚠ 営農情報～園芸作物の夏季高温対策について～

野菜

- かん水は、生育状態等を十分考慮し、早朝・夕方に実施しましょう。施設内でのかん水は、湿度が高くなりやすいため、夜間や曇雨天の日中には、通風するなどして湿度を下げましょう。また、地温の上昇抑制や土壌水分保持のため、地温抑制マルチや敷わら等を活用すると効果的です。
- 園芸用施設は、出入り口・側面を開放するとともに、作物の特性に応じた、遮光資材等を使用し、施設内の温度上昇を抑制しましょう。循環扇は、局所的な高温空気の滞留を防ぎ、ハウス内温度の均一化が図られ、作業快適性の向上も期待できます。
- 風通しを良くするために、こまめな除草や側枝、弱小枝及び下葉を除去しましょう。
- 育苗箱は、コンテナやブロックでかさ上げし、風通しを良くしましょう。

果樹

- 敷きわらや敷草等により、土壌水分の蒸発を極力抑制しつつ、適宜かん水を実施しましょう。
- 収穫時期が遅れ、過熟にならないように適期収穫に努めましょう。
- ハダニ類の発生動向に十分注意し、適期防除に努めましょう。

花き

- 切り花については、朝・夕の気温の低い時間に採花し、常温での長時間放置を避けましょう。劣化を防ぐために前処理剤を使用すると、品質の維持に効果的です。
- 露地栽培では、マルチ等により、土壌水分の蒸発を極力抑制しつつ、適宜かん水を実施しましょう。
- 施設栽培では、出入り口・側面を開放し、作物の特性に応じた、遮光資材等を使用しましょう。細霧冷房装置等を活用して適切な温度・湿度管理に努めましょう。
- ハダニ類の発生動向に十分注意し、適期防除に努めましょう。

令和元年度第1回農業女子会を開催

6月24日、令和元年度農業女子会開講式及び第1回講座を開催し、受講生6名が参加しました。

当日は「スマートフォンで本格的な写真を撮ろう」と題して、ドコモショップイオンモール水戸内原店より4名を講師に迎え、スマートフォンによる写真の撮影や加工方法について学び理解を深めました。受講者は自身の農産物のPRや販路拡大に有効活用しようと積極的に被写体を撮影し、講師に質問・指導を受ける様子が見られました。また、受講者同士で撮影した写真の出来栄を見せ合うなど情報交換が行われました。

当部門では受講者の農業経営や仲間づくりへの支援を引き続き行っていきます。



スマートフォンで撮影する様子

新任農業三士のご紹介

茨城県では、農業担い手の育成や地域農業の振興に活躍する地域のリーダー農業者を農業経営士、女性農業士、青年農業士として知事が認定しています。

7月11日に県総合福祉会館において、認定式並びに退任式が開催されました。当普及センター管内からは、農業経営士1名、女性農業士2名、青年農業士2名が新たに認定されました。

認定されたみなさんの今後のご活躍を期待します。

<新規認定者>

【農業経営士】



廣瀬 勝志 氏
(筑西市蓬田)
施設野菜

【女性農業士】



西村 ゆかり 氏
(筑西市宮後)
普通作, 露地野菜



勝俣 京美 氏
(桜川市高久)
施設野菜, 露地野菜

【青年農業士】



勝俣 良 氏
(桜川市高久)
施設野菜, 露地野菜



鈴木 栄滋 氏
(桜川市真壁町飯塚)
施設野菜, 普通作



農業学園第2回講座「農業適正使用」を開催！

6月25日、令和元年度農業学園第2回講座を開催し、農業学園生等14名が参加しました。

講座では、「農業適正使用について」、「効果的な薬剤散布について」をテーマに普及センター職員及びシンジェンタジャパン株式会社の大滝氏より講義を行いました。

前段の講義では、「IPM(総合的病害虫・雑草管理)の考え方」を中心とした内容で、学園生からは「IPMへの理解が深まった」との感想がありました。

また、大滝氏の講義では「殺菌剤を中心とした予防・治療の考え方、目的に合わせたノズルの使用」を中心とした内容で、学園生からは「防除のタイミングの重要性や、散布方法(圧力やノズル)を注意していきたい」などの感想がありました。

当部門では、引き続き受講者の経営に役立つ講座を開催していきます。



トマトコナジラミ発生状況速報！

当普及センターでは、トマト黄化葉巻病・黄化病への注意喚起を目的に、これらの病気を媒介するコナジラミ類の発生モニタリング調査(毎週1回実施)を行っています。この調査はトマトの栽培が多く、発病が問題となる筑西市内の5カ所で実施しています。7月16日現在、調査地区の全カ所において昨年より多い発生にありますので、注意してください。

黄色粘着板片面1枚、1週間あたりのコナジラミ捕獲量(頭)

設置地区 (筑西市内)	調査日			
	6/24	7/2	7/9	7/16
桑山地区 十里	2000 以上	961	2000 以上	1921 (昨年比増)
柳	4	4	15	16 (昨年比増)
小栗	0	6	10	11 (昨年比増)

普及員のひとりごと ~相田 次郎~

今年も蒸し暑い日が続いていますね。毎年、多くの方が“熱中症”で体調を崩したり、亡くなる方が出ています。皆さんは、何か対策をしていますか？私は、いつも飲み物を持ち歩いています。農作業中の注意点と対策は、農林水産省のホームページで見られるので、一度確認してみてください。

編集後記

露地小ぎくのほ場を巡回しました。ほ場で満開まで咲かせることはありませんが、ほ場で咲かせたら壮観だろうと思います。 安藤